

2015年3月3日

会員各位

日本フードシステム学会  
会長 齋藤 修

## 2015年度 日本フードシステム学会大会のお知らせ

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2015年度 日本フードシステム学会大会を下記の要領にて開催致します。会員外の方々もお誘いの上、多数の皆さんのご参集をお待ちしております。

### 記

#### 【1】日 程

5月30日(土)	開会・シンポジウム	9:30~17:30
	理事会	12:30~13:30
	総会	13:30~14:30
	懇親会	18:00~19:30
5月31日(日)	ミニシンポジウム	9:00~12:30
	個別報告	13:30~17:00

#### 【2】会場

東京農業大学世田谷キャンパス (東京都世田谷区桜丘 1-1-1)

#### 【3】費 用

1. 大会参加費(含む資料代) 会員 3,000円 学生会員 2,000円  
非会員・一般 4,000円 非会員・院生・学部学生 2,500円
2. 懇親会費 5,000円
3. 報告論文審査料 7,000円 (個別報告の報告論文投稿を希望する者)

#### 【4】参加申し込みについて

大会に参加される方は下記の学会ホームページで5月20日(水)までに申込みを行うようお願いします。  
大会の円滑な運営のため、事前の申し込みにご協力をお願いいたします。

ただし、個別報告の希望者は、報告要旨とあわせて4月13日(月)正午(必着)までに申し込みを行って下さい。

<https://www.fsraj.org/taikai/2015/> (3月中旬開設予定)

インターネットを利用できない方のみ、同封の参加申込書を学会事務局宛 FAXでお送り下さい。

#### 【5】開会・シンポジウム(会場：アカデミアセンター地下1階横井記念講堂)

開催校挨拶	堀田 和彦 (東京農業大学)
学会長挨拶	齋藤 修 (千葉大学)

シンポジウム(会場：アカデミアセンター地下1階横井記念講堂)

テーマ：グローバル化とフードシステム

座長：小林弘明（千葉大学）・金田憲和（東京農業大学）

- 〔1〕 グローバル化・地域統合と日本のフードシステム  
報告：下渡敏治（日本大学）
- 〔2〕 途上国のフードシステムにおけるグローバル化の影響  
ーコーヒーのフェアトレードを中心としてー  
報告：辻村英之（京都大学）
- 〔3〕 グローバル化が進展するアジア諸国のフードシステムの経済連携  
報告：株田文博（農林水産省農林水産政策研究所）
- 〔4〕 食品企業の海外事業戦略の展開と課題  
ー東アジアにおける Made BY Japan、Made IN Japan の取り組みー  
報告：鈴木喜博（ハウス食品グループ本社国際事業本部）
- 〔5〕 日本食・食文化の海外展開と Made FROM Japan の取り組み  
報告：加藤一隆（日本フードサービス協会）

【6】懇親会（会場：18号館前レストランすずしろ）

【7】ミニシンポジウム(会場：1号館2階231教室)

テーマ：医福食農連携とフードシステムー超高齢社会における配食サービスと福祉ー

座長：斎藤修(千葉大学)・高城孝助(女子栄養大学)

- 〔1〕 超高齢社会における配食サービスと福祉の統合  
報告：斎藤 修（千葉大学）
- 〔2〕 超高齢社会における食関連ビジネスの動向と課題  
報告：高城孝助（女子栄養大学）
- 〔3〕 病院食をめぐる医療・介護の新たな価値創造  
報告：改田剛俊（関越病院）
- 〔4〕 セントラルキッチンの導入と医療福祉施設との提携  
報告：吉田雄次（宮城保険企画）

【8】個別報告・報告論文の受付

(1) 個別報告の希望者は、学会ホームページでの参加申し込み後、報告要旨を所定の様式にて、4月13日（月）正午（必着）までに、下記のアドレスに提出して下さい。

なお、締め切日以降、報告要旨の差替えはできません。また、報告要旨は学会ホームページに掲載されます。

投稿先アドレス：[fshoukoku-15@ml.affrc.go.jp](mailto:fshoukoku-15@ml.affrc.go.jp)

(2) 報告時間は質疑を含めて20分（報告15分、質疑5分）です。PCを使用する場合には、報告用ファイル（PDF、PPT（マイクロソフト社パワーポイント2010で読み取り可能なファイル形式）のどちらでも可）をUSBに保存し、個別報告当日5月31日（日）の9:00～12:00に各個別報告会場の担当者まで提出して下さい。各個別報告会場にて速やかにウイルスチェックを行い、問題のない報告用ファイルのみ採用します。ウイルス等で使用できない場合には配布資料での発表となります。配布資料は30部以上ご用意ください。

(3) 個別報告の報告論文投稿を希望する方は、大会受付時に事前に審査料(7,000 円)をお支払い下さい。審査料が支払われていない場合は投稿を受け付けません。

(4) 報告要旨の体裁、報告論文の投稿・審査の詳細は、学会ホームページをご覧ください。

所定の体裁に従っていない場合は、報告要旨を受け付けませんので、ご注意ください。

※なお、期日までに申し込みや提出がされない場合、および学会費等が未納の場合には、個別報告、報告論文投稿はできませんので、ご注意ください。

#### 【9】大会に関する問い合わせ先

大会事務局

東京農業大学 FS 大会実行委員会

〒156-8502

東京都世田谷区桜丘 1-1-1 東京農業大学食料環境経済学科 FS 大会実行委員会

TEL : 03-5477-2358/ FAX 03-5477-2621 (学科事務室)

E-mail: nodaiifs2015@gmail.com

日本フードシステム学会事務局

日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科内

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866

TEL0466-84-3409・3402 / FAX 0466-84-3429

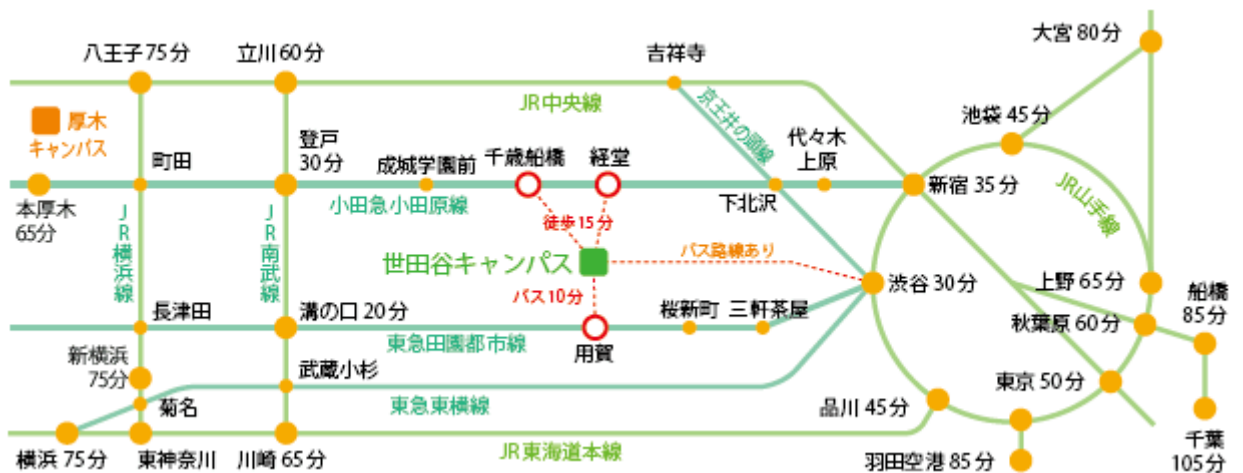
E-mail: office\_fsraj@ml.affrc.go.jp

◎2015年度大会に関する最新情報は下記HPの大会案内をご覧ください。

<https://www.fsraj.org/taikai/2015/> (3月中旬開設予定)

◎個別報告発表一覧は5月中旬に掲載する予定です。

◎東京農業大学世田谷キャンパス周辺の地図および主な交通機関のご案内は、以下をご覧ください。



小田急線

- ◆ 経堂駅下車 徒歩 約 15 分
- ◆ 千歳船橋駅下車 徒歩 約 15 分      バス 約 5 分 <千歳船橋駅～農大前>
- 東急バス      渋谷駅行… (渋 23)      等々力操車所行… (等 11)      用賀駅行… (用 01)

JR 山の手線

- ◆ 渋谷駅下車(渋谷駅西口)
- バス 約 30 分 <渋谷駅～農大前>
- 小田急バス      成城学園前駅西口行…………… (渋 24)      調布駅南口行…………… (渋 26)
- 東急バス      成城学園前駅西口行…………… (渋 24)      祖師ヶ谷大蔵駅行…………… (渋 23)

東急田園都市線

- ◆ 用賀駅下車
- 徒歩 約 20 分      バス 約 10 分 <用賀～農大前>
- 東急バス      世田谷区民会館行…………… (園 02)      祖師ヶ谷大蔵駅行…………… (用 01)

東急東横線

- ◆ 田園調布駅下車
- バス 約 30 分 <田園調布駅～農大前>
- 東急バス      世田谷区民会館行…………… (園 02)



キャンパスまでの交通経路:[http://www.nodai.ac.jp/access/map\\_s.html](http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html)

キャンパスマップ:<http://www.nodai.ac.jp/map/setagaya/index.html>

<b>【1日目】東京農業大学世田谷キャンパス</b>	
シンポジウム・総会	: アカデミアセンター地下1階横井記念講堂
理事會	: 1号館3階311教室
懇親會	: 18号館前レストランすずしろ
<b>【2日目】東京農業大学世田谷キャンパス</b>	
ミニシンポジウム	: 1号館2階231教室
個別報告	: 1号館1階111教室～113教室
	: 1号館2階211教室～213教室